

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	令和元年5月24日
【四半期会計期間】	第53期第1四半期（自平成28年1月1日至平成28年3月31日）
【会社名】	株式会社ジェクシード
【英訳名】	GEXEED CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 野澤 裕
【本店の所在の場所】	東京都千代田区神田錦町三丁目17番地11
【電話番号】	03(5259)7010
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 山口 和秋
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区神田錦町三丁目17番地11
【電話番号】	03(5259)7010
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 山口 和秋
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成27年12月に締結をしたファクタリング取引契約における売掛債権の取扱いにおいて一部誤謬がありましたため、平成28年5月13日に提出いたしました第53期第1四半期（自平成28年1月1日至平成28年3月31日）に係る四半期報告書の記載事項の一部を訂正する必要が生じたので、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期財務諸表については、フロンティア監査法人により四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

## 2【訂正事項】

- 第一部 企業情報
  - 第1 企業の概況
  - 第2 事業の状況
  - 第4 経理の状況

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_\_を付しております。

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第52期 第1四半期 累計期間	第53期 第1四半期 累計期間	第52期
会計期間	自平成27年1月1日 至平成27年3月31日	自平成28年1月1日 至平成28年3月31日	自平成27年1月1日 至平成27年12月31日
売上高 (千円)	153,249	150,071	715,968
経常損失( ) (千円)	36,288	26,648	576
四半期(当期)純損失( ) (千円)	37,222	27,200	3,579
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金 (千円)	1,037,433	1,037,433	1,037,433
発行済株式総数 (千株)	15,000	15,000	15,000
純資産額 (千円)	249,987	255,271	282,864
総資産額 (千円)	454,333	389,817	480,475
1株当たり四半期(当期)純損失 金額( ) (円)	2.49	1.81	0.24
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
1株当たり配当額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	54.7	65.4	58.7

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高につきましては、消費税等を含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額につきましては、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期(当期)純損失であるため記載しておりません。

(訂正後)

回次	第52期 第1四半期 累計期間	第53期 第1四半期 累計期間	第52期
会計期間	自平成27年1月1日 至平成27年3月31日	自平成28年1月1日 至平成28年3月31日	自平成27年1月1日 至平成27年12月31日
売上高 (千円)	153,249	150,071	715,968
経常損失 ( ) (千円)	36,288	26,648	576
四半期(当期)純損失 ( ) (千円)	37,222	27,200	3,579
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金 (千円)	1,037,433	1,037,433	1,037,433
発行済株式総数 (千株)	15,000	15,000	15,000
純資産額 (千円)	249,987	255,271	282,864
総資産額 (千円)	454,333	389,817	519,455
1株当たり四半期(当期)純損失 金額 ( ) (円)	2.49	1.81	0.24
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
1株当たり配当額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	54.7	65.4	54.3

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高につきましては、消費税等を含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額につきましては、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期(当期)純損失であるため記載しておりません。

## 第2【事業の状況】

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (2) 財政状態の分析

##### (訂正前)

総資産は、前事業年度（以下「前期」という）末と比べ90,657千円減少し、389,817千円となりました。

流動資産は、前期末に比べ、92,323千円減少し、323,455千円となりました。これは主に現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は、前期末に比べ、1,665千円増加し、66,362千円となりました。これは主に無形固定資産の増加によるものであります。

負債合計は、前期末に比べ、63,064千円減少し、134,546千円となりました。

流動負債は、前期末に比べ、64,135千円減少し、116,934千円となりました。これは主に、関係会社短期借入金の減少、賞与引当金の増加及びその他の流動負債の減少によるものであります。

固定負債は、前期末に比べ、1,071千円増加し、17,611千円となりました。これは、退職給付引当金の増加によるものであります。

純資産合計は、前期末に比べて27,593千円減少し、255,271千円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

##### (訂正後)

総資産は、前事業年度（以下「前期」という）末と比べ129,638千円減少し、389,817千円となりました。

流動資産は、前期末に比べ、131,303千円減少し、323,455千円となりました。これは主に現金及び預金の減少及び売掛金の減少によるものであります。

固定資産は、前期末に比べ、1,665千円増加し、66,362千円となりました。これは主に無形固定資産の増加によるものであります。

負債合計は、前期末に比べ、102,044千円減少し、134,546千円となりました。

流動負債は、前期末に比べ、103,115千円減少し、116,934千円となりました。これは主に、関係会社短期借入金の減少、賞与引当金の増加及びその他の流動負債の減少によるものであります。

固定負債は、前期末に比べ、1,071千円増加し、17,611千円となりました。これは、退職給付引当金の増加によるものであります。

純資産合計は、前期末に比べて27,593千円減少し、255,271千円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

## 第4【経理の状況】

### 1【四半期財務諸表】

#### (1)【四半期貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	303,526	212,207
売掛金	100,193	89,741
仕掛品	5,405	15,186
その他	7,254	6,857
貸倒引当金	601	538
流動資産合計	415,778	323,455
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	8,371	8,884
無形固定資産	40,399	41,555
投資その他の資産		
その他	17,702	17,698
貸倒引当金	1,776	1,776
投資その他の資産合計	15,925	15,922
固定資産合計	64,696	66,362
<b>資産合計</b>	480,475	389,817
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	22,006	17,410
関係会社短期借入金	90,000	41,000
1年内返済予定の長期借入金	8,814	4,500
未払法人税等	3,774	2,145
賞与引当金	-	17,211
その他	56,475	34,668
流動負債合計	181,070	116,934
<b>固定負債</b>		
退職給付引当金	16,540	17,611
固定負債合計	16,540	17,611
<b>負債合計</b>	197,610	134,546
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,037,433	1,037,433
資本剰余金	120,242	120,242
利益剰余金	875,469	902,670
自己株式	28	28
株主資本合計	282,177	254,976
<b>新株予約権</b>	687	295
<b>純資産合計</b>	282,864	255,271
<b>負債純資産合計</b>	480,475	389,817

(訂正後)

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	303,526	212,207
売掛金	139,173	89,741
仕掛品	5,405	15,186
その他	7,254	6,857
貸倒引当金	601	538
流動資産合計	454,759	323,455
固定資産		
有形固定資産	8,371	8,884
無形固定資産	40,399	41,555
投資その他の資産		
その他	17,702	17,698
貸倒引当金	1,776	1,776
投資その他の資産合計	15,925	15,922
固定資産合計	64,696	66,362
資産合計	519,455	389,817
負債の部		
流動負債		
買掛金	22,006	17,410
関係会社短期借入金	90,000	41,000
1年内返済予定の長期借入金	8,814	4,500
未払法人税等	3,774	2,145
賞与引当金	-	17,211
その他	95,455	34,668
流動負債合計	220,050	116,934
固定負債		
退職給付引当金	16,540	17,611
固定負債合計	16,540	17,611
負債合計	236,590	134,546
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,037,433	1,037,433
資本剰余金	120,242	120,242
利益剰余金	875,469	902,670
自己株式	28	28
株主資本合計	282,177	254,976
新株予約権	687	295
純資産合計	282,864	255,271
負債純資産合計	519,455	389,817

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

令和元年5月13日

株式会社ジェクシード

取締役会 御中

### フロンティア監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 藤井 幸雄 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 本郷 大輔 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ジェクシードの平成28年1月1日から平成28年12月31日までの第53期事業年度の第1四半期会計期間（平成28年1月1日から平成28年3月31日まで）及び第1四半期累計期間（平成28年1月1日から平成28年3月31日まで）に係る訂正後の四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ジェクシードの平成28年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期財務諸表に対して平成28年5月12日に四半期レビュー報告書を提出した。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。